

令和3年度 事業報告

令和3年度の本会の取組は、令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、これまでに得た感染対策や学びを活かして事業の推進を図りました。

しかし、度重なる緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置などにより、人とのつながりの喪失や閉じこもりがちな筋力の低下、認知症の発症など、長引く自粛生活による影響はより大きなものとなっています。このような中、市民生活の一助となるよう、感染防止策を徹底させた上で在宅福祉サービス事業や日常生活自立支援事業等を実施しました。

生活困窮者への支援としては、千葉県社会福祉協議会からの受託事業で、新型コロナウイルス感染症を原因とする減収や失業等への支援である、生活福祉資金（通称「コロナ特例貸付」）の申請及び相談も継続して取り組みました。

ボランティアセンター事業では、コロナ下であっても、誰でもできる折り紙ボランティアの活動の輪を広げることができました。民生委員児童委員の協力のもと、折り鶴を配布する取組では、心のこもった多くの折り鶴がセンターに寄せられ、地域の方々や福祉施設等へ届けることができました。

さらに、成年後見・遺言個別相談会では、司法書士による出張相談として、市内の公民館等計7か所で開催し、多くの市民の相談に応じることができました。

受託事業である指定管理者（福祉作業所友和園、地域福祉センター）の最終年度でしたが、令和4年度から令和8年度の指定管理者として選定されました。

また、障害者虐待防止に係る取組及び身体拘束等適正化に係る取組の義務化に伴い、運営規程の改正や委員会設置の整備に努めました。

今年度策定した「鎌ヶ谷市地域福祉活動計画（第5次）」では、令和3年度から令和8年度を計画期間と定め、鎌ヶ谷市地域福祉計画との整合性を図りながら、地域福祉像である「思いやりと支えあいがあり、誰もが健康でいきいきと暮らせるまち かまがや」の実現を目指し、3つの基本目標と8つの施策を盛り込みました。

なお、令和3年度に実施した事業の詳細につきましては、下記のとおりです。

1 法人運営

(1) 会務運営

◎理事会

第1回 令和3年6月1日（火） ※書面決議

- ・補正予算（第2回）について
- ・令和2年度事業報告について

- ・令和2年度決算について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・令和3年度定時評議員会開催について

第2回 令和3年6月22日（火）

- ・会長、副会長の選定について
- ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
- ・地域福祉活動計画について

第3回 令和3年12月17日（金）

- ・地域福祉活動計画（案）について
- ・在宅福祉サービス事業実施規程の一部改正について

第4回 令和4年3月17日（木） ※書面決議

- ・地域福祉活動計画（案）について
- ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
- ・令和3年度補正予算について
- ・役員等賠償責任保険の加入について
- ・令和4年度事業計画案について
- ・令和4年度予算案について
- ・令和3年度第2回評議員会開催について

第5回 令和4年3月30日（水） ※書面決議

- ・友和園運営規程の一部改正について
- ・表彰規程の一部改正について

◎評議員会

第1回 令和3年6月21日（月） 定時評議員会 ※書面決議

- ・補正予算（第2回）について
- ・令和2年度事業報告について
- ・令和2年度決算について
- ・理事及び監事の選任について

第2回 令和4年3月25日（金） ※書面決議

- ・令和3年度補正予算について
- ・令和4年度事業計画案について
- ・令和4年度予算案について

◎内部監査 令和3年5月21日（金）

- ・令和2年度事業報告
- ・令和2年度会計決算

(2) 社協会費の納入状況

①一般会費	8,252,548円（40自治会）
②法人会費	591,000円（89件）
③施設・団体会費	292,000円（51件）
合 計	9,135,548円

○自治会へ福祉事業費として、2,040,000円を支出し、地域活動の推進に寄与した。

(3) 啓発事業

- ・ホームページによる啓発として、新型コロナウイルス感染症に伴う支援策である生活福祉資金（コロナ特例貸付）や、市社協及び地区社協の事業実施状況等、タイムリーな情報発信に努めた。
- ・広報紙「鎌ヶ谷社協だより」を年3回発行し、内1回は紙面数を増やすなど、社協事業の啓発に努めた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため自治会回覧の見合わせが継続される中、新聞折り込み及び市内8か所の駅への設置を行うなど、効果的な情報提供に努めた。

(4) 市民・学校・福祉団体等への支援

- ・市内で火災が発生し、6件の見舞金65,000円を交付した。
- ・法外援護費（帰宅旅費）を4名に払出した。
- ・民生委員児童委員協議会事務局として、会務の運営、専門部会活動への協力及び関係機関との連絡調整に努めた。また、千葉県民生委員児童委員協議会が主催するオンライン研修会等への参加を図るなど、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、民生委員児童委員の資質の向上に寄与した。
- ・遺族会の会務運営に協力した。
- ・民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会等、福祉関係団体に助成し、その活動を支援した。（計480,000円）
- ・市内全小学校及び中学校（計14校）に福祉活動助成金として助成し、福祉教育（校内環境美化、高齢者との交流、福祉募金活動等）の支援に努めた。（一校当たり50,000円）

- ・障害者週間に合わせて、アクロスモール、ショッピングプラザ鎌ヶ谷、市役所市民ホールに、市内9か所の就労継続支援B型事業所のパネル計10枚を展示し、各事業所の活動の啓発に寄与した。
- ・市内中学校の制服リユース事業を実施した。(提供者84名297点、利用者197名351点)

2 地域福祉事業

(1) 地区社会福祉協議会事業

地域福祉活動の中核的組織として、高齢者から子どもまでの地域住民を対象とした事業を、6地区ごとに広報、ふれあい交流、在宅福祉、ボランティア育成などの各委員会が中心となり、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、可能な限り事業の実施に努めた。

◎各地区の情報共有のための連絡会議及び事務局会議等の開催について

①地区社協連絡会議（オンライン会議を含め年3回実施）

②地区社協連絡会研修会（11月22日 オンライン講義）

講義 「コロナ禍における地区社協活動及び全国事例等」

講師 菱沼 幹男 氏（日本社会事業大学 准教授）

③地区社協事務局会議（オンライン会議を含め定期的に年9回実施）

◎その他資質向上のための研修会等について

①災害ボランティアセンター立ち上げ訓練（10月2日 オンライン講義）

講義 「社協に求められる災害時の支援の全体像」

講師 李 仁鉄 氏（NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長）

②千葉県CSW育成研修地域福祉の担い手養成講座（10月14日、11月11日、12月2日 オンライン開催）

講義 「コミュニティソーシャルワークと地域の支え合い・助け合い」

講師 坪井 真 氏（作新学院大学女子短期大学部幼児教育科教授）

③地区社協事務局職員LINE活用研修会（3月5日 講義及び体験）

講義 「PCからLINE情報発信」

講師 影山 貴大 氏（市民活動推進課）

◎市社協との共催事業 成年後見・遺言個別相談会

将来に備え、成年後見制度の利用及び遺言相続について司法書士の協力を得て、市社協との共催にて相談会を開催した。(市内7か所・計25件)

○中央地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広 報 啓 発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	・ 3月31日「まごころ 60号」を発行 (約5,800部) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	中央地区社協クリア ファイル作成	・ 地区社協クリアファイルをボランティア育成委員 会と作成
ふ れ あ い 交 流	茶話会 (対象70歳以上)	・ 11月18日 ラジオ体操、ゴルフパターゲーム で交流会を開催(35名参加) ・ 3月23日 ラジオ体操、バグギーゲームで交流 会を開催(18名参加) ※中止の際は葉書、残暑見舞い、年賀状などを郵送 した。
在 宅 福 祉	介護予防教室 お年寄りとの交流会 (援護グループによる 交流会)	・ 浅沼先生による体操教室を2部制にして開催 12月2日(38名参加) 3月17日(28名参加) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止
ボ ラ ン テ ィ ア 育 成	鎌ヶ谷中学校 JRC 委員 会と地域の方との交流 会 ボランティア研修会 中央地区 ふれあいのつどい	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面に て開催(資料、アンケート、ファイルを送付)

	ボランティアバス研修 中央地区社協クリア ファイル作成	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・地区社協クリアファイルを広報啓発委員会と作成
実行委員会	ふれあいサロン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月21日 運営委員を対象に開催 (14名参加) ・ 11月25日 一般の方を対象に開催 (18名参加) ・ 12月23日 一般の方を対象に開催 (16名参加) ・ 3月24日 一般の方を対象に開催 (17名参加)

◎見守りパトロール（通年、4委員会毎月実施しているが、4月～9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、10月～3月再開）

◎鎌ヶ谷中学校の行事招待状配布は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（高齢者との交流）

○中央東地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	福祉健康フェア	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	ホームページ	・ホームページを更新し、地区社協事業等の啓発に努めた。

ふ れ あ い 交 流	ひょうたん祭り	新型コロナウイルス感染拡大防止のため主催者の 公民館にて中止を決定
	地区ふれあい祭り	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	バス研修	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	防災備品点検 発電機点検	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・委員会等で動作確認を2回実施した。 （7月27日 10名参加） （11月18日 10名参加）
在 宅 福 祉	介護予防教室	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
ボ ラ ン テ ィ ア 育 成	ボランティア支援活動	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	青少年福祉活動① 五本松小ふれあい会	手すきはがき作り教室は新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止 ・五中福祉委員が、ひとり暮らし高齢者への 年賀状を出す事業を実施した。 （12月1日 20名参加） ・初小、五小の生徒が公民館でのひとり暮らし高 齢者への年賀状を出す事業を実施した。 （12月11日 13名参加） ・2年生と高齢者との交流会（昔あそび） （12月9日 17名参加）
部 会 活 動	サロン事業（翔友会）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止

その他	運営委員研修会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	脳トレプリント	・脳トレプリントを地区社協掲示板、ラック、体操教室等で配布

○東部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙	・「ふれあい第59号」を地域新聞への折り込み配布にて発行（12,295部） 号外版（事業計画掲載）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	チラシの発行	・「東部地区社会福祉協議会ご案内」を地域新聞への折り込み配布にて発行。子どもの見守り啓発についても掲載した。（12,270部）
	福祉健康フェア	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
地域交流	東部ふれあいまつり	新型コロナウイルス感染拡大防止のため主催者の学習センターにて中止を決定
	ふれあい福祉まつり	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	移動児童館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	東部リフレッシュ	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	交流バスハイキング	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
健康福祉	ミニリハビリ	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	ほのぼの会	
	ふれあいサロン「すみれ」	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

育成 研修	地区ふれあい員研修	・地区ふれあい員へ地域見守りのための資料を配布 (地区ふれあい員158名)
	福祉講座	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	青少年育成(手作りおもちゃで遊ぼう)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
その 他	東部地区懇談会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	ジュニア防災キャンプ	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○西部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広 報 啓 発	地区社協広報紙	・「あけぼの58号」を発行(3,300部)
	福祉健康フェア	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	広報啓発活動	・うちわ(名入れ)、マスク(シトラスリボンプロジェクト)の配布
地 域 交 流	炊き出し訓練	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	昔遊びの会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	サロン「梨の花」	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	子育て支援事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	脳トレプリント	・くぬぎ山コミュニティセンター玄関脇に脳トレプリント(5種類)を設置 ※2週間に一度プリントを入れ替え実施

在宅福祉	オレンジ交友会 (認知症予防の会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参集型での開催は中止したが、夏バテ防止、健口体操、減塩レシピ、脳トレのプリントを作成し配布した。(対象者48名)
	高齢者支援教室	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	在宅介護者のつどい	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
ボランティア育成	体操講習会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	バス研修	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	講演会 わかば (健康作りの会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・ 運営委員対象に2回(5月20日、7月1日) 会員を対象に2回(10月28日、12月16日)に浅沼美那先生による体操教室を開催。(延べ69名参加) ・ 夏バテ防止、健口体操、減塩レシピ、脳トレのプリントを作成し配布した。(対象者53名)
	ミニリハビリ教室 (こぶしの会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催は中止したが、電話訪問活動及び夏バテ防止、健口体操、減塩レシピ、脳トレのプリントを作成し配布した。(対象者59名)
その他	コロナワクチン予約	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域にお住まいの方のワクチン予約の支援を実施した。(計18名)
	ラジオ体操	<ul style="list-style-type: none"> ・ くぬぎ山公園を会場に、毎月第4金曜日にラジオ体操を実施(全9回 延べ184名参加)
	折り紙教室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祝い鶴の折り方教室を開催(11月4日 3名参加)
	地域交流会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○南部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	「南部地区 歩いて再発見歩々歩々マップ」発行	<ul style="list-style-type: none"> 南部地域のマップを6,000部発行。(自治会による各戸配布) ※広報「なんぶだより」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため発行中止
在宅福祉	<p>体操教室</p> <p>ウォーキング</p> <p>介護予防教室</p> <p>高齢者バスハイキング</p> <p>子育て支援</p> <p>秋のおたのしみ会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員を対象に健康体操を実施 (11月17日 17名参加) (12月15日 24名参加) 南部地域(中沢方面)のコースを散策 (10月20日 14名参加) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
事業	<p>(災害時支援部会) 防災倉庫点検</p> <p>(地域交流部会) 南部ふれあいの集い</p> <p>道野辺保育園交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防災備品の使用確認等を実施 (12月3日 21名参加) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「はーとかだん」に代わる交流として、手作りクリスマスカードをプレゼントした。(9名参加) ※はーとかだん交流事業は今年度で終了

南部芸能交流大会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
南部いきいきサロン	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
脳トレプリント配布	・脳トレプリントのラックを設置し配布を行った。 個人以外にも、談話室等の活動でも活用された。
公民館まつりに参加	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催者の公民館が中止を決定
グラウンド・ゴルフ大会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
(なんぶ孫の手会部会)	・地域ボランティア活動(ゴミ出し：252回)
孫の手バス研修	・新型コロナウイルス感染拡大防止のためバス研修は行わず、公民館でクリーン推進課による「ふれあい収集事業」についての研修会を行った。 (23名の参加)
こども発達センター「のびのびルーム」交流	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催者の子ども発達センターにて中止を決定

○北部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報	地区社協広報紙	・「北部地区社協だより」3月号を発行 (3,000部)
ふれあい交流	サロン事業 (サロンほ・く・ぶ) おせんべい焼き	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

在宅福祉	介護予防教室	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室の代わりとして、手紙と初富通信を同封し、ひとり暮らしの高齢者と高齢者世帯に委員がポスティングした。(426件)
	友愛訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの高齢者と高齢者世帯に、委員が安否確認の手紙を作成し、タオルと啓発グッズを一緒にポスティングした。(426件)
健康推進	健康体操	<ul style="list-style-type: none"> ・健康運動指導士による軽体操、脳トレ等の講座を2回開催した。 (11月27日 14名参加) (12月11日 14名参加)
	公開講座	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
その他	福祉健康フェア	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	北部ふれあいまつり	新型コロナウイルス感染拡大防止のため主催者の公民館にて中止を決定

(2) 生活支援体制整備事業(第2層協議体活動)

地域包括ケアシステムの一部である生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター設置業務委託事業<実施主体:鎌ヶ谷市>)への取組として、6コミュニティエリアへの生活支援コーディネーターと第2層協議体の設置が完了した。それぞれの協議体では、新型コロナウイルス感染症の予防を徹底した上で話し合いや実践を重ねた。

圏域(協議体)	会議開催数	実施内容
北部圏域 (たすけあい活動あさか)	1回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期していた会議を開催。その間に「向こう三軒両隣の輪を広げよう!」啓発グッズを500個作成した。また「たすけあい活動あさか」活動のPR用チラシの作成や地域で集える場の活用等について、どのような活動が必要か、意見交換を行った。

<p>東部圏域 (東部地区第2層協議体)</p>	<p>2回</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期していた会議を開催。東部地区における人やモノなど様々な地域資源の発掘や小規模の通いの場の必要性などについて意見交換を行った。</p> <p>今後、話し合いをもとに小規模談話室を開催する予定。</p>
<p>南部圏域 (南部ささえあい協議体)</p>	<p>2回</p>	<p>気軽に参加できるミニ講座として、「楽しい漢字のお話」を開催した。運動機会の確保のためチャェアヨガも組み入れ、15名の参加があった。</p> <p>第2回目のミニ講座はまん延防止等重点措置のため延期。</p>
<p>西部圏域 (西部地区第2層協議体)</p>	<p>5回</p>	<p>「声かけ隊」の活動を年間22回実施し、地域において、「声かけ隊」の活動が浸透し始めた。</p> <p>また、圏域内では高齢化が進み、スーパーマーケット等に出かける際に、休憩が出来るベンチの設置を望む声があり、自治会の協力を得て、次年度に設置するすることが決まった。</p>
<p>中央東圏域 (中央東地区第2層協議体)</p>	<p>3回</p>	<p>12月6日第1回会議を開催。東武鎌ヶ谷自治会を中心に、地域の情報交換と自治会館の有効活用について検討を重ねた。</p>
<p>中央圏域 (中央地区第2層協議体)</p>	<p>1回</p>	<p>3月29日第1回目の協議体会議を開催。今後の取組に向けて、地区の特性や課題などを話し合った。</p>

全体研修として、11月22日にオンライン講義「生活支援体制整備事業の主旨及び全国事例等」を開催した。講師：菱沼 幹男 氏（日本社会事業大学 准教授）

3 ボランティアセンター事業

市内のボランティア活動の拠点として、ボランティアにかかわる相談、連絡、調整、育成のための各種講座、市民を対象にしたボランティア体験、福祉をテーマとした講座等予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により、昨年度に引き続き各種事業を縮小・中止とした。

また、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練については、感染拡大防止の観点から、オンライン形式による研修(10月2日：43名参加)を実施した。

①相談・活動状況

相談件数	2,834件
斡旋件数	80件

②登録状況

ボランティア団体（36団体）	848名	災害ボランティア保険 加入者（2名）
個人ボランティア	150名	/
合計	998名	

③事業の内容等

事業名	開催日等	参加者
ボランティア入門講座	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
市民ボランティア体験	4月1日～6月30日（特別企画 折り紙によるおもてなし大作戦）	44名
	9月1日～12月17日 （お家で折紙ボランティア）	496名
	8月11日～1月14日 （ウエスカットボランティア）	63名
	3月2日～3月24日（市民ボラ ンティア体験後期5コース）	50名
夏休み福祉体験（8コース）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
災害ボランティア養成講座	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
ボランティア活動スキルアップ講座	①6月23・25日②7月6・7日 （ボランティア団体等会員募集のため のホームページ作成）	36名
ボランティア活動スキルアップ講 座Ⅱ	3月5日（スマートフォン所有率の 増加に伴い、PCからLINEで情 報発信）	8名

④講師派遣

事業名（依頼先等）	開催日	参加者
認知症サポーター講座 （高齢者支援課）	1月13日 （資料配布）	20名

⑤福祉用具の貸出

備品名	貸出件数	貸出先
車いす	17	高齢者施設・個人・小中学校・医療機関
高齢者疑似体験セット	11	企業・高齢者施設・小中学校
ボッチャゲームセット	8	小学校・高齢者施設・福祉作業所・団体・地域

4 在宅福祉サービス事業

(1) ふれあいサービス

高齢者や障がいのある方、子育て世帯（産前産後）の方、家事にお困りの方が「利用会員」となり、地域の中から参加した「協力会員」が家事支援・介助などのサービスを有料で提供する会員制の相互扶助（たすけあい活動）の福祉サービスを実施した。昨年に引き続き緊急事態宣言など感染症対策の実施に伴い、事業の休止及び自粛をしつつも、会員相互の安心・安全対策を講じながら、可能な範囲で会員の自立に向けた支援を推進した。

○活動状況

協力会員	登録者人数	26名
	活動人数	21名
利用会員	登録者人数	33名
	・安心登録人数	11名
	・休止・中止人数	10名
	・利用人数	12名
延べ活動利用回数		216回
延べ活動利用時間数		285時間

○協力会員の研修会

内 容	開催日
協力会員登録・更新説明会 「社会福祉協議会とは」 「活動中の感染防止について」	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
協力会員登録説明会※新規のみ個別対応	6月30日

調理に関する講習「夏バテ予防の食事」「手指消毒と食中毒の予防」(資料送付)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
調理に関する講習「バランスのよい食事」(資料送付)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
調理に関する講習「免疫力アップの食事」	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

参加延べ人数4名

(2) 在宅介護者のつどい

在宅で身体の障がいや認知症等により、要介護状態にある家族等を介護している方を対象に、日頃の介護疲れを癒すことを目的に、介護者同士の情報交換の場や高齢者支援課の協力により健康面などの相談を行うなど実施した。昨年引き続き緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴い、開催中止や個別相談会への変更等可能な範囲で開催した。

○事業の内容等

内 容	開催日
介護体験等意見交換	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
個別おはなし会	5月28日
個別おはなし会	6月23日
個別おはなし会	7月19日
調理に関する講習会(「夏バテ予防」レシピ送付)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
防災に備える話	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
個別おはなし会	10月29日
手工芸「ミニ寄せ植え」	11月15日
手工芸「アロマテラピー～ハンドクリームづくり～」	12月14日

手工芸「コケ玉づくり」	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
体操「ボールを使って体をほぐす体操」	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
体操「ヨガ」（中止の代わりにフレイル予防冊子送付）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

参加延べ人数 18名

○地区別「在宅介護者のつどい」について

・西部地区社協の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

5 相談事業

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度より電話相談のみに変更。
ただし、若干名の来談者に対応した。

(1) 心配ごと相談（毎週水曜日 10:00～14:00）

開催日数は48日であり、民生委員児童委員10名、学識経験者4名で相談にあたった。また、昨年度より相談員2名体制から1名体制へ減員して対応した。

(2) 心の相談（毎週月曜日、金曜日 10:00～14:00）

開催日数は95日であり、カウンセラー3名で相談にあたった。

○相談内容・延べ件数

	相談内容	心配ごと相談		心の相談	
		来談	電話	来談	電話
1	生計問題	1	1	0	0
2	年金問題	0	0	0	0
3	職業・産業問題	0	0	0	0
4	住宅問題	0	1	0	1
5	家族問題	0	19	0	67
6	結婚問題	0	0	0	0
7	離婚問題	0	2	0	0

8	健康・衛生問題	0	1	0	3
9	医療問題	0	0	0	0
10	精神衛生問題	0	3	0	2
11	人権・法律問題	0	1	0	0
12	財産問題	0	2	0	1
13	事故問題	0	0	0	0
14	児童福祉・母子保健問題	0	0	0	0
15	教育・青少年問題	0	0	0	0
16	心身障がい者（児）福祉問題	0	0	0	0
17	母子・父子福祉問題	0	0	0	0
18	老人福祉問題	0	2	0	0
19	苦情問題	0	0	0	1
20	その他	0	13	0	5
	合計	1	45	0	80
	総合計	46		80	

6 資金貸付事業

◎総貸付相談件数 855件（延べ件数2,761件）

（1）福祉資金（鎌ヶ谷市社協独自の貸付）

○低所得世帯で一時的に生活等が困難な世帯への貸付。

・貸付決定額 0円

○年度末貸付額 204,500円

（2）生活福祉資金等（受託事業〈実施主体：（福）千葉県社会福祉協議会〉）

○低所得世帯、身体障害者世帯等の自立更生、生活の安定を図るための貸付。

・貸付申請(決定)額 4,563,300円（6件）

資金種類		貸付決定額	件数
福祉資金	福祉費(保護世帯必需品)	62,000	1
福祉資金		0	0

教育支援資金	就学支度費（大学 4、専門学校1）	4,501,000	5
--------	----------------------	-----------	---

○新型コロナウイルス感染症特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）

・貸付申請(決定)額 356,950,000円（849件）

資金種類	貸付決定額	件数
特例緊急小口資金	63,130,000	320
特例総合支援資金（初回、延長）	157,930,000	273
特例総合支援資金（再貸付）	135,890,000	256

○生活福祉資金等の貸付後の状況

- ・年度末償還中件数111件（総合支援41、生活福祉13、緊急小口13、教育39、離職者支援3、生活復興支援資金1、不動産担保型1）
- ・免除申請承認件数1
- ・令和3年4月～令和4年3月間の償還率は17%

(3) 償還を促す指導等

- 「償還残高のお知らせ」等の送付(年4回)〈借受人、連帯借受人、連帯保証人、担当民生委員〉
- 督促状、請求書等の送付及び法的措置の依頼((福)千葉県社会福祉協議会及び本会より)
- 延滞世帯への確認等(46件)

7 地域福祉権利擁護事業（受託事業〈実施主体：(福)千葉県社会福祉協議会〉）

(1) 日常生活自立支援事業

福祉サービスの利用手続きや、日常生活における金銭管理等を行うことが難しい状況にある高齢者や障がい者等の生活を安定させるための相談受付及び契約業務を次のように取り扱った。また、地区社協や民生委員児童委員、介護事業所や地域包括支援センター、福祉行政機関等に対して、事業の啓発活動を行った。

①相談・訪問調査等

区分	新規相談受付人数	契約者相談・訪問 調査延べ回数
高齢者	12	177

精神障がい者	5	88
上記以外	2	16
合計	19	281

②利用契約件数

区分	件数
高齢者	6
精神障がい者	4
その他	1
合計	11

*内、新規契約2件、解約4件

③生活支援員状況

区分	人数
登録者	3
現任者（活動者）	7
合計	10

④生活支援員養成研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、生活支援員登録者向け研修会を中止した。

⑤関係機関連絡会

- ・日常生活自立支援事業について、県内社協間の情報共有の場として、オンライン会議に参加した。（12月13日、3月9日開催）
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内関係機関と権利擁護に関する資料提供により情報共有を行った。（1月28日）

(2) 成年後見制度の啓発事業

①成年後見制度・遺言相続個別相談会

将来に備え、成年後見制度の利用及び遺言相続について司法書士の協力を得て、6地区社協との共催にて相談会を開催した。（市内7か所・25件）

期日	会場	相談件数	相談内容
11月16日	北部公民館 視聴覚室	2	①生前贈与、遺言について ②成年後見について

11月17日	きらり鎌ヶ谷市民 会館 学習室6	3	①生前贈与、遺言について ②成年後見について
11月18日	南部公民館 学習室1	4	①生前贈与、遺言について ②成年後見について
11月25日	総合福祉保健セン ター 団体活動室	4	①生前贈与、遺言について ②成年後見について
11月26日	東部学習センター 学習室2	4	①生前贈与、遺言について ②成年後見について
12月 3日	東初富公民館 集会室	4	①生前贈与、遺言について ②成年後見について
12月10日	くぬぎ山コミュニ ティーセンター 保育室	4	①生前贈与、遺言について ②成年後見について

8 善意銀行

○寄付金総額 793,873円(18件)

①金銭の払出し (円)

払出先	金額	備考
ボランティア・福祉団体等	201,672	目的別寄付
要援助者支援	65,800	災害見舞金等、帰宅旅費等
その他	50,007	生活困窮者への食糧支援用品購入
合計	317,479	

○寄付物品(2件)

②物品の払出し

払出先	物品名	備考
要介護高齢者	オムツ、看護用食品	
福祉施設等	タオル	

9 受託事業（実施主体：鎌ヶ谷市）

（1）福祉作業所友和園（指定管理者制度）

法定事業所（就労継続支援B型と生活介護）の多機能型事業所として、心身に障がいがあるため就職困難な方に対し、社会生活における適応性を高める指導を感染予防対策を講じながら行った。所員の定員は就労継続支援B型20名（在籍は15名）、生活介護10名（在籍9名）であった。

生活指導の面では、社会自立、身辺自立に必要な基本的な生活習慣が身に付くように、月例行事など様々な機会をとおして、具体的な指導を行った。

特に就労継続支援においては、知識、技能及び就労態度を養うための指導を行い、作業指導の面では、コンタクトレンズ用品の袋入れ、タオル袋入れ、かぶの袋入れ、封入作業等の簡易作業や地域新聞の配達、公園の清掃、花壇の手入れ、梨の枝の片づけ、アルミ缶・ペットボトルキャップ回収の作業を行った。

また、自主生産として、手芸品、紙すき製品などを作り販売した。その中で、千葉日報社より「NTT児童画コンクール参加賞」として紙すきのメモ帳3,350冊の注文を受け製作にあたった。工賃収入として、2,232,848円であった。

その他、作業所の円滑な運営を図るため、保護者会を2回、個別支援計画の確認のため、個別面談を2回実施した。さらに、広報「ゆうわ」を4回発行し施設内外の情報提供に努めた。

（2）地域福祉センター（指定管理者制度）

地域福祉活動の拠点となる、総合福祉保健センター内の地域福祉センター（大会議室〈団体等の年間利用20回〉、団体活動室〈年間利用262回〉、調理室等）の貸出し業務を行った。

※大会議室については、5月20日より新型コロナワクチン接種会場として使用されている。

10 共同募金運動

（1）赤い羽根募金（10月～12月実施）

区分	募金団体等	募金額
戸別募金	42自治会	4,365,999
学校募金	市内小、中学校、高等学校	195,161
法人募金	商店、会社等70件	360,137

その他募金	職域、個人、団体等	183,694
合計		5,104,991

※ 赤い羽根募金は全額、千葉県共同募金会に送金し、翌年度の事業費として約70%の配分を受ける。

(2) 歳末たすけあい募金(12月実施)

○収入

(円)

区分	募金団体等	募金額
戸別募金	42自治会	2,857,033
その他募金	法人、個人、団体等	243,737
合計		3,100,770

○配分

(円)

事業名	内容	金額
生活困窮者見舞金支給事業	要援護世帯へ見舞金支給	953,000
緊急的生活支援事業	困窮世帯への食料等支援・要援助者へ卓上カレンダー配布	441,570
福祉ニーズへの支援事業	社協啓発活動・こどもの学習支援	291,195
災害関連事業	災害ボランティアセンター用品等の整備	122,100
社会福祉施設助成金事業	高齢者・障害者・児童福祉施設・小規模作業所、こども食堂等へ助成	750,000
福祉関係団体助成金事業	当事者団体等へ助成	140,000
地域・在宅福祉事業	障がい者福祉イベント・在宅福祉活動等	120,000
合計		2,817,865

(3) 義援金の受付・送金

- ・ 1名の方から計10,000円の義援金を預かり送金した。

(4) 災害見舞金の支給

- ・ 6件の災害見舞金として計65,000円を支給した。

令和3年度 事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告には、社会福祉法第45条の27第2項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年5月

社会福祉法人 鎌ヶ谷市社会福祉協議会